



いのちの おく贈りもの

よく知って、よく考えよう
臓器移植

経験者の声



(公社)日本臓器移植ネットワークの公式 YouTube チャンネルで、
臓器提供された方のご家族や移植を受けた方のインタビュー動画を
視聴できます。上の二次元バーコードからチャンネルにリンクします。

JOT NW 公益社団法人 日本臓器移植ネットワーク
いのち、つなぐ。

☎ 0120-78-1069 (平日9:00~17:30)

<https://www.jotnw.or.jp>

臓器移植

検索



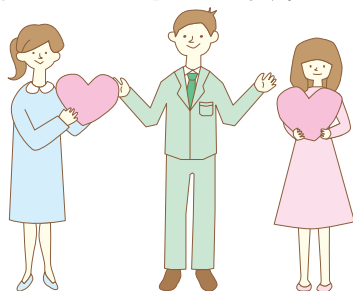
公益社団法人 日本臓器移植ネットワーク

臓器移植と臓器提供とは？

臓器移植は病気や事故によって臓器の機能が低下し、移植でしか治らない人に、他の人の臓器を移植し健康を回復する医療です。健康な人からの生体移植と亡くなった方からの提供による移植があります。亡くなった方からの臓器提供には脳死下の提供と心臓が停止した死後の提供があり、提供できる臓器が異なります。

移植を受けた人は、免疫により移植した臓器を異物として攻撃しないよう、免疫抑制剤を飲み続けることにはなりますが、旅行や学校

に行ったり、仕事に復帰することもできるようになります。そして、臓器を提供した方とその家族への感謝の思いを忘れることなく、再び得た健康を大切に過ごしています。



心臓死・脳死・植物状態の違い

人の死は臓器を提供する場合に限り、心臓死と脳死の2種類があります。

心臓死とは、心臓の停止・呼吸の停止・瞳孔の散大という3つの兆候がそろった状態です。

脳死とは、脳の全ての機能が働かなくなった状態です。薬剤や人工呼吸器によって心臓を動かし続けることはできますが、どのような治療を行っても回復することはなく、多くの場合、数日で心臓も停止します。

世界の多くの国では脳死は人の死とされていますが、日本では1997年10月16日に臓器移植法が施行され、脳死で臓器を提供する場合に限り、脳死を人の死とすることにしました。

植物状態は、生きていくために必要な呼吸や循環機能の調節を司る脳幹の機能が残っているため、自ら呼吸できることが多く、回復する可能性もあり、脳死とはまったく異なります。

—— 正常な脳、脳死、植物状態の一例 ——



心停止後と脳死下では提供できる臓器が異なります。

心停止後
腎臓・膵臓・眼球

脳死下
心臓・肺
・肝臓(分割可)・腎臓
・膵臓・小腸・眼球

移植を必要としている人はどのくらいいるの？

私たちの体は、心臓・肺・肝臓・腎臓など、さまざまな臓器がきちんと機能することで健康を保っています。しかし、病気や事故によって臓器の機能が低下したり、失われて苦しんでいる人が数多くいます。

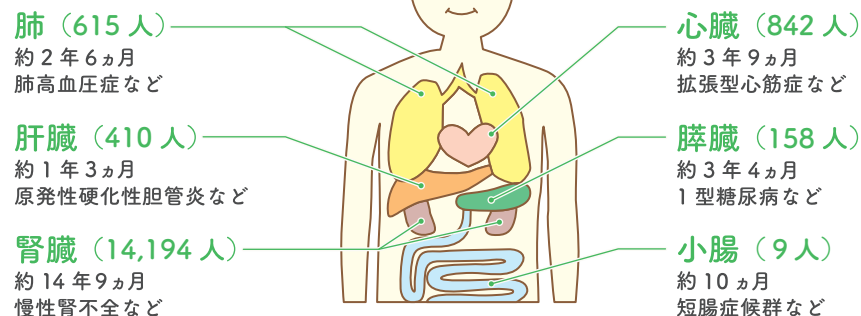
そのような人の中で、移植による健康の回復

に望みを持ち、日本臓器移植ネットワーク(JOT)に登録して待機している人は約16,000人います。

しかし、死後の臓器提供によって移植を受ける人は年間約600人です。

*角膜移植を希望してアイバンクに登録している人は約2,000人います。

JOTに登録されている各臓器の移植希望登録者数と待機期間と主な病気



移植希望登録者数 2024年5月31日現在

1997年10月～2022年12月までに移植を受けた人の平均待機期間

(※腎臓のみレシピエント選択基準改正後2002年1月10日～2022年12月)

移植希望者 16,000人 → 移植を受けられる人 年間600人 (1人=100人)



臓器提供の流れ



1 病院に入院

臓器移植コーディネーターによる説明

家族が臓器提供に関する説明を希望した場合、医師からJOTに連絡が入り、臓器移植コーディネーターが病院を訪れ、詳しく説明を行います。



2 臓器移植コーディネーターによる説明

3 家族の意思決定

脳死判定（脳死下の提供時のみ）

脳死下の提供の場合、法に基づいた脳死判定が2回行われ、2回目の終了時刻が死亡時刻となります。家族が立ち会うこともできます。



4 脳死判定

5 移植を受ける患者の選択

臓器の摘出手術

摘出手術はおよそ3～5時間かかります。摘出された臓器は、移植希望者の入院する病院へ迅速に運ばれて移植されます。



6 臓器の摘出手術

7 身体のお戻し

病院に入院

病院で最善の救命治療を受けたものの、回復の可能性がない場合、医師が家族へ病状の説明と終末期医療の選択肢の一つとして、臓器を提供する・しないの意思を伺う場合があります。また、家族から記入した意思表示欄を医師へ提示していただくことで、本人の意思を伝えることもできます。

家族の意思決定

家族の皆様で十分に話し合い、臓器を提供する・しないを総意として決めていただきます。



移植を受ける患者の選択

提供いただく臓器が最も適した患者に移植されるよう、JOTに登録している移植希望者の中からコンピューターを用いて公平に選ばれます。



身体のお戻し

摘出手術後は速やかに家族の元へ戻ります。傷口はきれいに縫い合わせ、清潔なガーゼを当て、外から見てわからないようにします。その後は、通夜や葬儀など、家族や大切な方との時間を過ごしていただけます。

臓器提供を決断した家族の話

「ママが交通事故を起こして病院に運ばれた。すぐに行って」と職場に緊急電話。病院へ駆けつけると、重度の脳内出血と分かり事態の重篤さを知る。

「このまま逝ってしまうのは、あまりに無念…。無言の妻の頭を撫ぜながら、「私がしてやれる最善の行為は何だろう」と自問する。運転中の発症とはなったが奇跡的に体は無傷。妻から「あとは任せただけから。臓器提供を実現してね」と問いかけられている気がした。

妻は以前から意思表示をしていた。子供たちは「望んでいたことをしてあげるのが一番」と全員了解。ただ妻の両親は「絶対に嫌。私より早く死ぬだけでも辛く悲

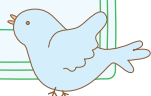
しいのに、これ以上体を傷つけ臓器を取り出すなんて」と不承諾。

説得は難航したが、妻の従兄が「誰にも死は必ず訪れる。少しでも肉体を生かせるならその可能性を生かすべきだ」と助言し、義母の心を解かしてくれた。

臓器は全国5人の患者さんに受け取ってもらった。葬儀の際に挨拶で臓器提供したことを告知。参列者から「彼女らしい最期。私も（提供を）真剣に考えたい」と反響を呼んだ。

後日、肺を移植した方から「娘の幼稚園行事にも参加できるようになった」とのお手紙をいただき、『家族の宝物』になっている。

(think transplant vol.24 より抜粋)



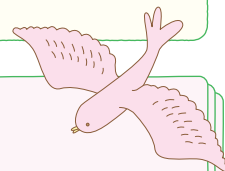
臓器移植を受けた人の話

心臓移植の手術前は、自分で動くのもままならず、生死の境目を行ったり来たりしていました。そんな私が、手術後1週間で、自分で歩くことができました。また、体が嘘みたいに静かで、苦しさもなく、すごく落ち着いていました。それからは、日に日に体調が回復し、今までできなかったことができるようになるたびに、感動の連続でした。そして、退院し家に帰れたときは、なんともいえない気持ちがこみ上げ、涙が止まりませ

んでした。移植手術を受けたからこそ感じるのかもしれませんが、命の大切さ、時間の大切さを、私たち移植を受けた患者は感じています。

移植後に結婚し、子供を授かりました。子供が大きくなったら、「お父さんの体の中には、たくさんの人たちの心が詰まっているんだよ。そして、あなたが生まれたんだよ」と伝えたいと思います。

(think transplant vol.2 より抜粋)



移植経験者や臓器提供者の家族の手記をJOT ホームページで紹介しています。



今、考えてほしいこと

臓器移植に関しては、一人ひとりが4つの権利を持っています。死後に臓器を「提供する」「提供しない」、移植を「受ける」「受けない」という権利であり、どの考え方も自由に選択でき、尊重されます。私たちはどの立場にもなる可能性があり、そして、その時は突然訪れます。死後の臓器提供は、最終的に家族の承諾が必要となります。家族が迷わないためにも元気なうちに家族と話し合い、意思を示しておくことが大切です。



意思表示の流れ

臓器提供についての意思表示は健康保険証、運転免許証、マイナンバーカード、臓器提供意思表示カードに記入することができます。また、JOTのホームページで意思の登録ができます。

意思はいつでも何度でも変更できます。
*臓器を「提供する」意思表示は、15歳以上が有効です。

健康保険証（例）

注意事項 保険医療機関等において診療を受けようとするときには、必ずこの証をその窓口で渡してください。

住所 _____
備考 _____

※ 以下の欄に記入することにより、臓器提供に関する意思表示をすることができます。記入する場合は、1から3までのいずれかの番号を○で囲んでください。

Step 1 1. 私は、脳死後及び心臓が停止した死後のいずれでも、移植の為に臓器を提供します。
Step 2 2. 私は、心臓が停止した死後に限り、移植の為に臓器を提供します。
Step 3 3. 私は、臓器を提供しません。
Step 4 ①又は②を選んだ方で、提供したくない臓器があれば、×をつけてください。
【心臓・肺・肝臓・腎臓・膵臓・小腸・眼球】

【特記欄】 _____
署名年月日 年 月 日 _____
本人署名(自筆): _____ 家族署名(自筆): _____

Step 1

自分の意思を選択

1～3 ひとつだけに○をしてください。

Step 2 (1・2を選んだ方のみ)

提供したくない臓器を選択

提供したくない臓器があれば×をしてください。

Step 3 (1・2を選んだ方のみ)

特記欄への記入

皮膚・心臓弁・血管・骨など臓器以外も提供したい方はその旨を、また親族への優先提供の意思を表示したい方は、JOT ホームページなどで留意事項をご覧の上、「親族優先」と記入してください。

Step 4

氏名などを記入

記入した意思は家族へ伝え、もしもの時に第三者が確認できるようにしてください。提出や郵送の必要はありません。家族署名欄がある場合は家族から署名をもらおうと良いでしょう。

よくある質問

Q1. 臓器提供は誰でもできますか？どこでもできますか？

A1. 意思を表示することに、年齢の上限はありません。高齢の方でも病気で薬を飲んでいる場合でもどなたでも記入していただけます。ただし、がんや全身性の感染症で亡くなられた場合には臓器提供できない場合があります。実際の臓器提供時に医学的検査をして判断します。これまで0～70歳代の方からの臓器提供が行われています。また、心臓が停止した死後の提供は手術室のある病院、脳死下の提供は大学病院等の高度な医療を行える施設でできます。

Q2. 臓器提供側に費用の負担や謝礼はありますか？

A2. 臓器提供はあくまでも善意による行為であるため、臓器提供側に費用の負担は一切ありません。また、葬儀の費用や謝礼が支払われることはありません。臓器を提供した場合、厚生労働大臣より感謝状が贈られます。

Q3. 臓器移植でどこまで健康な状態に戻るの？

A3. 個人差はありますが、移植後は免疫抑制剤などを服用し、拒絶反応や感染症に注意すれば、多くは健康な人とほぼ変わらない生活を送ることができます。中には、移植後にオリンピックのメダリストとなった人やプロサッカー選手として活躍している人もいます。

Q4. 臓器の提供がある場合、移植を受ける患者はどのように選ばれるの？

A4. 血液型などの適合条件や優先順位など、各臓器ごとに決められている医学的条件によって、JOTに登録されている患者の中から最も適した人がコンピューターで選ばれます。

Q5. どんな人が脳死になるの？

A5. 脳死の主な原因としては、事故による頭部損傷や、脳出血または脳梗塞といった脳血管障害などがあげられます。したがって、すべての人がある日突然、脳死になる可能性があります。